

中学生の生徒、多方面で活躍!

11月17日(水)さ
んわ総合センターや
まなみ文化ホールで、
「第4回中学生英語
暗唱・スピーチコン
テスト」が開催され
ました。審査結果は
次のとおりです。



スピーチコンテスト

- 1年生の部(暗唱)**
最優秀賞 池田 夢乃 (神石中学校)
優秀賞 川上 光 (三和中学校)
- 2年生の部(スピーチ)**
最優秀賞 油野木紫音 (豊松中学校)
優秀賞 矢迫野乃佳 (神石中学校)
- 3年生の部(スピーチ)**
最優秀賞 野田 佳月 (神石中学校)
優秀賞 久保 佑充 (三和中学校)
(敬称略)

環境啓発ポスターで最優秀賞
財団法人広島県環境保全健康協会が主催する環境啓発ポスターコンクールで、神石中学校3年生の中岡望さんが中学生の部で最優秀賞を受賞しました。今回のコンクールでは、「地球温暖化を防ごう」をテーマに、県内小中学校から1万3,180点の中からの受賞となりました。中岡さんは「月

から見た美しい地球を書いた。生命あるこのたった一つの星を守って、いこうという願いを込めました」と作品への想いを話してくれました。



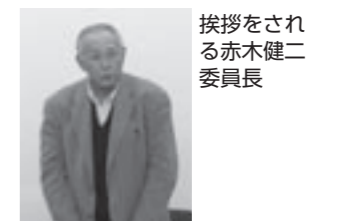
「小さな親切」作文コンクール全国大会で優秀賞
社団法人「小さな親切」運動本部が主催する第35回「小さな親切」作文コンクールで、三和中学校1年生の池田健峰君の「協力する」との大切さ」が全国大会で優秀賞を受賞しました。池田君は、「地域の人がみんな優しく接してくれる事を作文に書いた。この受賞は、とても嬉しかったし、地域の人に

感謝したい」と喜びを語りました。この作文コンクールは、子ども達に親切について考えてもらうことで、親切や思いやりの大切さを認識してもらおうと毎年行われているもので、3万7,250編の中から快挙となりました。



第11回 神石高原町 夢創造委員会開催!

11月26日(金)、11回目の夢創造委員会が開催されました。昨年6月から2年間をかけて委員会で協議された、夢の実現のためのプロジェクトを盛り込んだ提言書が作成されました。12月中に、牧野町長に提出される予定です。



挨拶をされる赤木健二委員長



町有財産売却について

次の町有財産を一般競争入札の方法により売却します。希望される方は、財政課又は支所町民課にある応募要領をご覧のうえ、所定の様式に必要事項を記入し、提出してください。

詳しくは、財政課行政係 ☎ 89-3320 までお問い合わせください。

●申込受付期間 平成23年1月6日(木)~1月17日(月)



所在地	神石郡神石高原町油木字市場乙 2016 番5
土地	宅地 337.92 m ²
建物	木造瓦葺平家建 住宅 57.96 m ²
予定価格	4,000,000 円 (消費税及び地方消費税相当額を含む。)

町立病院からのお知らせ

「皮膚ケアについて」

11月18日(木)、「まめくらぶ」を開催し、竹本外来看護師長から、乾燥する季節のかゆみなどの皮膚トラブルの解消法についての講演がありました。



(看護師から保湿剤の使い方の指導を受ける参加者のみなさん)

保湿剤の選択方法や基本的な塗り方について説明を受けた後、参加者全員で手の甲の水分量測定や保湿剤の使い方の体験などを行いました。

参加者からは「私は、手足が荒れるので大変よいお話でした」「実際にしてもらいわかりやすかった」「コタツに足を入れるとかゆくなっていましたが、保湿に気をつけます」などの感想がありました。

町立病院健康学習会「まめくらぶ」



講師：竹本外来看護師長

清掃ボランティア活動

11月14日(日)、「神石高原町立病院を守る会」(片山元八郎会長)の会員さんで、新しい草花を植え込み、花壇にある花の手入れや、病院周辺の草取り・草刈り・剪定を行っていただきました。会員の皆さんは手際よくされ、半日の作業で花壇や生け垣もさわやかに、新年を迎える用意が整いました。



神石高原町

観光イメージキャラクターと キャッチコピーが決定しました!

神石高原町観光協会では、神石高原町をより多くの方に知って頂くため、観光イメージキャラクターとキャッチコピーの募集を今年2月に行いました。

選考委員会による選考の結果、観光イメージキャラクターは98作品の応募の中から、西本晟君(三和小)の作品「こんやく仙人」に、キャッチコピーは61作品の応募の中から矢迫野乃佳さん(神石中)の作品「笑顔がきらり神石高原」に決定しました。

なお、観光イメージキャラクターとキャッチコピーの使用については、神石高原町観光協会へお問い合わせください。

TEL: 822-0066 FAX: 822-0066 URL: <http://jkougen.jp/kankou/>

イメージキャラクター

作品 「こんやく仙人」



三和小学校4年生 西本 晟くん

こんやく仙人を考えたきっかけは、3年生の時、総合の学習でコンニャクを作ったことです。その時、コンニャクを食べておいしかったから、コンニャクを使ったキャラクターを考えました。こんにやく仙人の活躍で、他の地域の人が神石高原町へコンニャクを食べに来てほしいです。そして、コンニャクの他にも、トマト・神石牛・しゃも地鶏などの特産品があることも知ってほしいです。

キャッチコピー

作品 「笑顔がきらり神石高原」



神石中学校2年生 矢迫野乃佳さん

先生にキャッチコピーの応募があることを教えていただき、所属している文化総合部の部活動の一環として応募をしました。神石高原町は自然が豊かで、人の笑顔がたくさんあることからイメージして考えました。私は、神石高原町が好きです。このキャッチコピーを見ることで、他の地域の人にも、神石高原町は素敵なおとろだということを知ってほしいと思います。